

農林業センサスについて

農林業センサスとは

農林業センサスは、我が国の農林業の生産構造や就業構造、農山村地域における土地資源など農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにし、農林業施策の企画・立案・推進のための基礎資料となる統計を作成し、提供することを目的に、5年ごとに行う調査です。



全ての農林業経営体を対象に行う「農林業経営体調査」と、全ての市区町村、農業集落を対象に行う「農山村地域調査」があります。

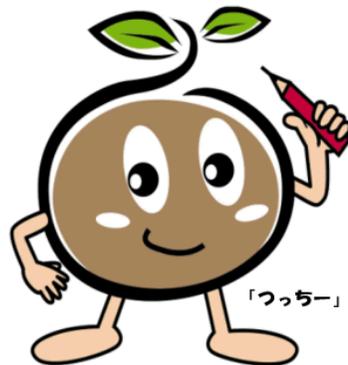
調査結果の利活用

各種施策の企画・立案・効果の検証のための資料等として利活用されています。

【利活用例】

- ・ 総務省が行う「地方交付税法」(昭和25年法律第211号)に基づく地方交付税算定の基礎資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画、森林・林業基本計画等の企画・立案・効果の検証のための資料
- ・ 各種統計調査(農業経営統計調査、作物統計調査、畜産統計調査等)の母集団情報

農林業センサスのマスコットキャラクター「つっちー」です。ヨロシク



センサス(census)の語源

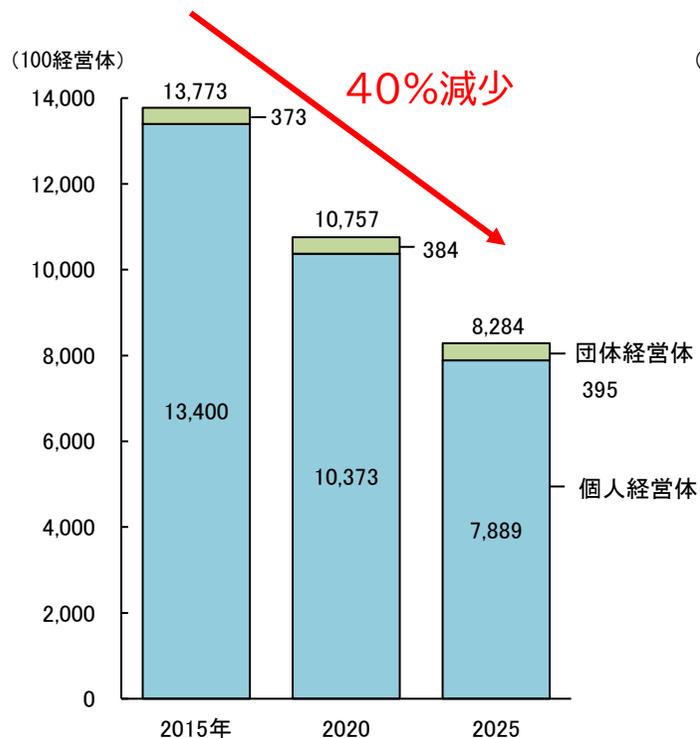
古代ローマに“センソール”という職の役人がいました。この役職は、5年ごとにローマ市民の数などを調査することを仕事としており、センソールが行う調査を“センサス”と呼んでいたといわれています。

このことから、センサスとは、通常すべてを調査の対象とし、個々の対象に調査票を使って、全般的な多項目にわたる調査を行うことを意味します。

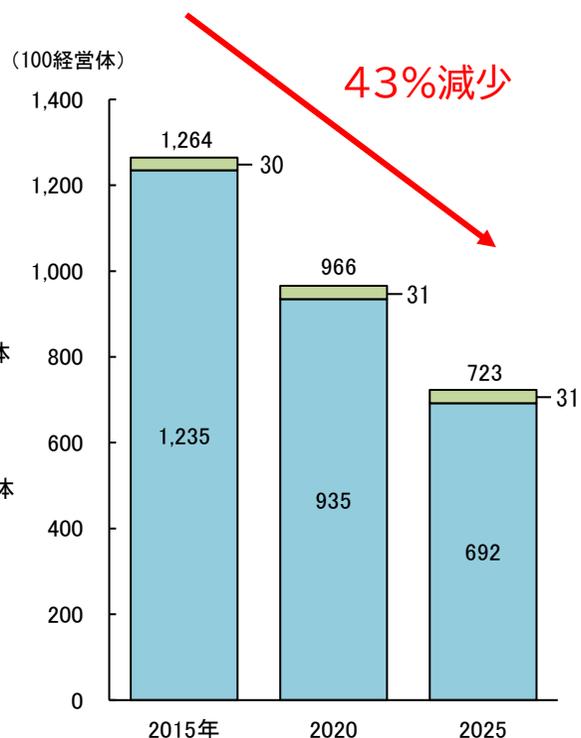
農業経営体数の動き

中国四国地域の農業経営体数は、全国と同様に減少傾向が続くなか、中国地域が7万2,300経営体、四国地域が5万800経営体で、10年前に比べそれぞれ43%、38%減少しています。

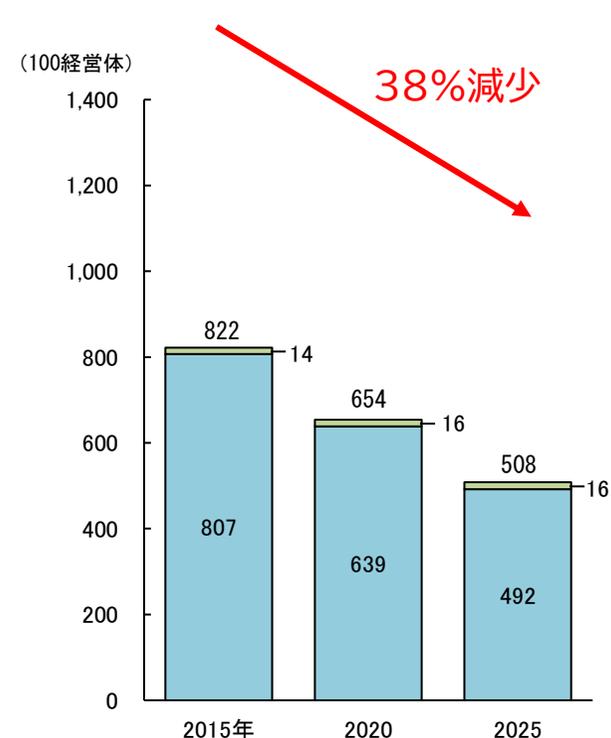
(全国)



(中国地域)



(四国地域)

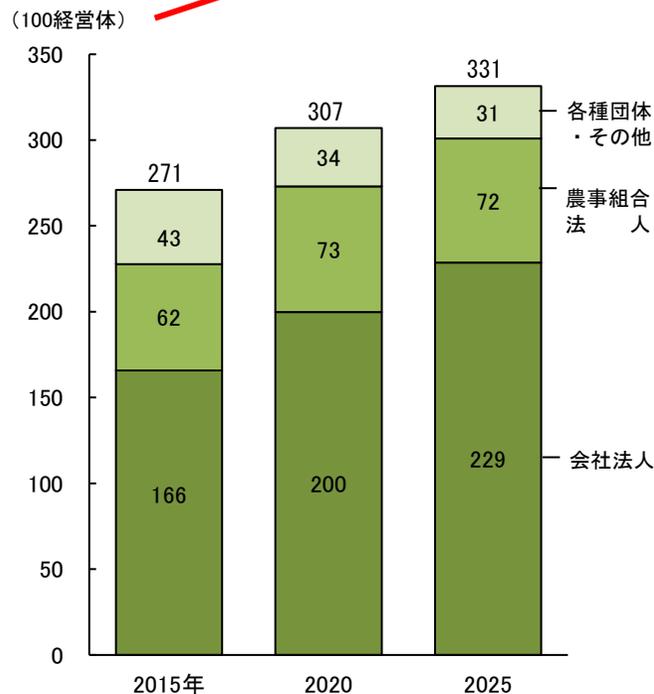


法人経営体数の動き

農業経営体のうち法人経営体数は、全国と同様に増加傾向が続くなか、中国地域が2,600経営体、四国地域が1,500経営体で、10年前に比べとも16%増加しています。

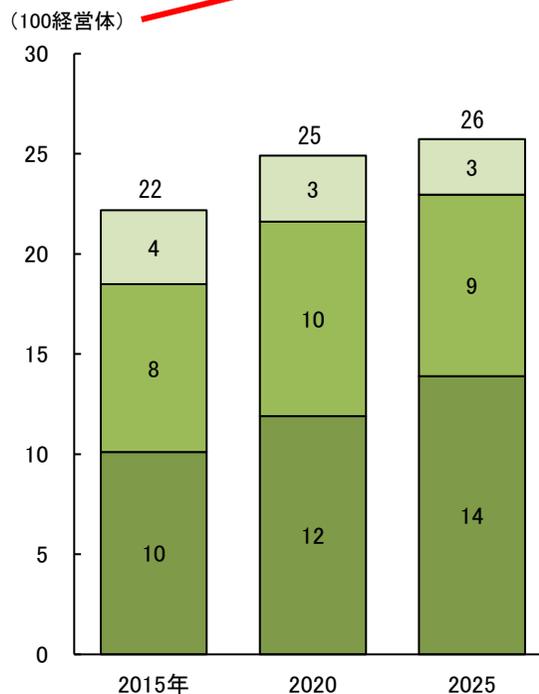
(全国)

22%増加



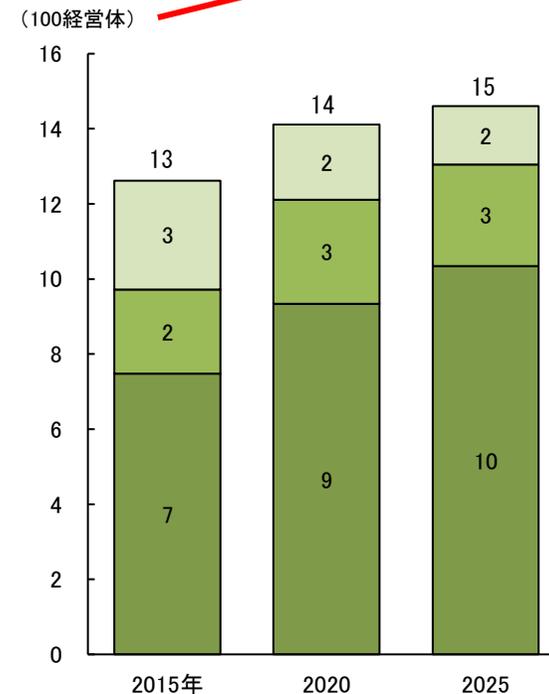
(中国地域)

16%増加



(四国地域)

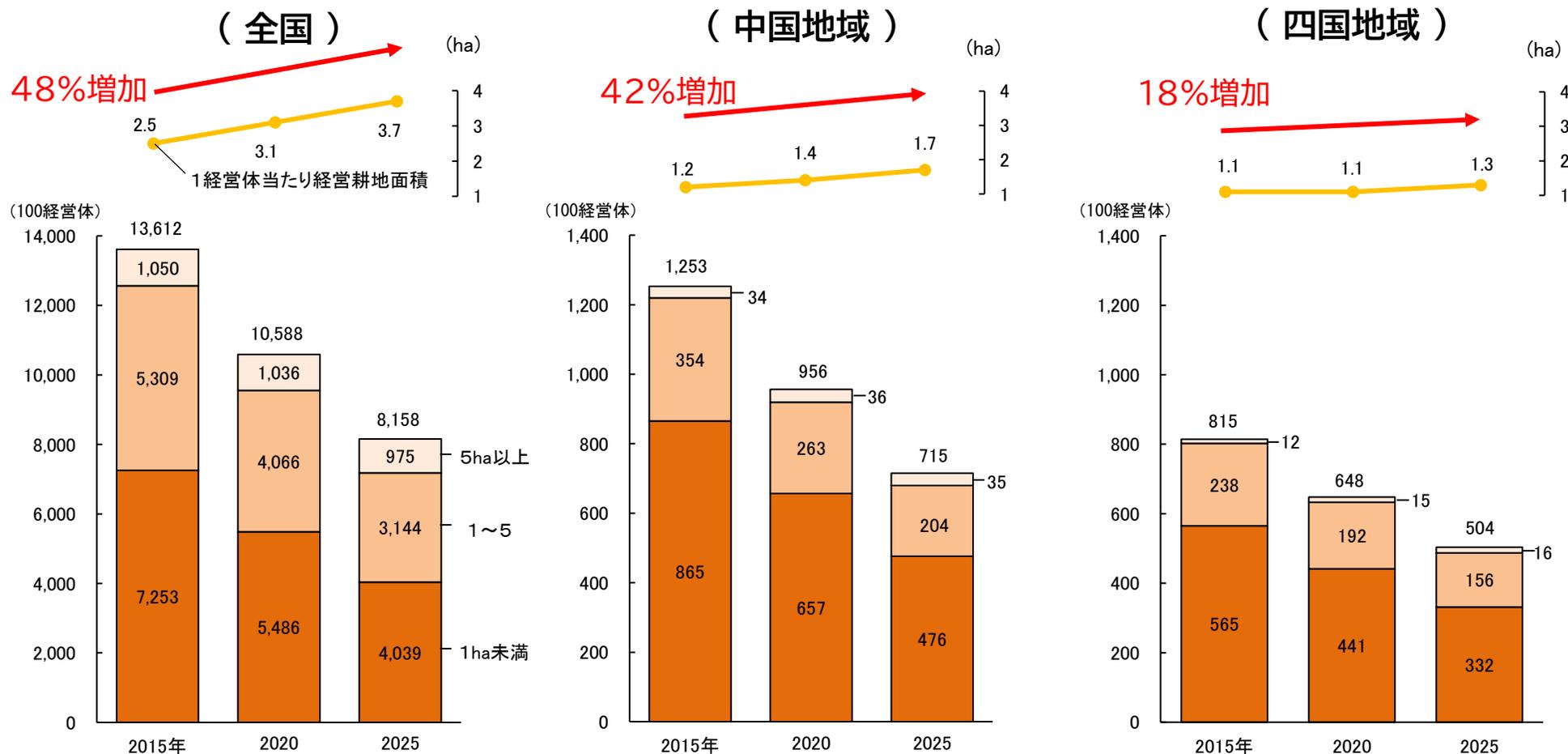
16%増加



農業経営体数の動き（経営耕地面積）①

1経営体当たりの経営耕地面積は、面積の減少傾向が続くなか、中国地域が1.7ha、四国地域が1.3haで、10年前に比べそれぞれ42%、18%増加しており、規模拡大が進んでいます。

経営耕地面積規模別経営体数と1経営体当たり経営耕地面積

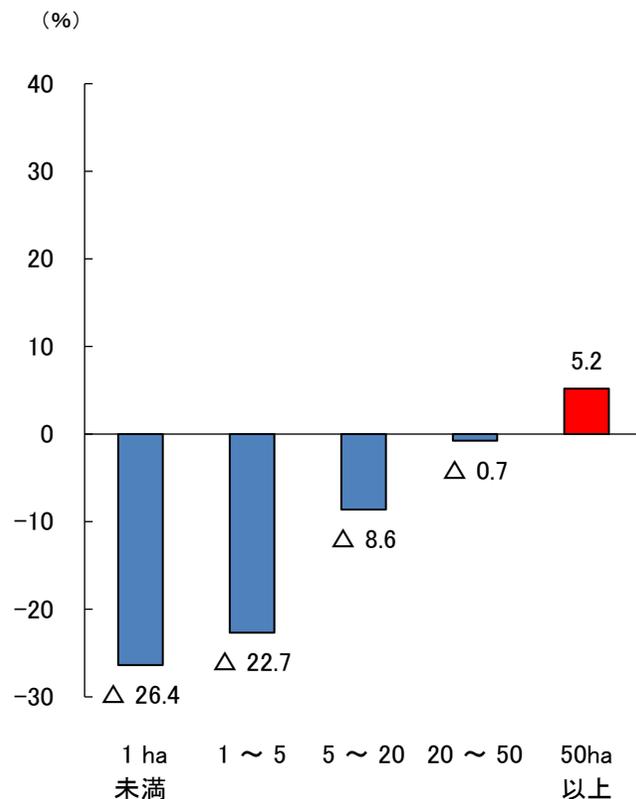


農業経営体数の動き(経営耕地面積)②

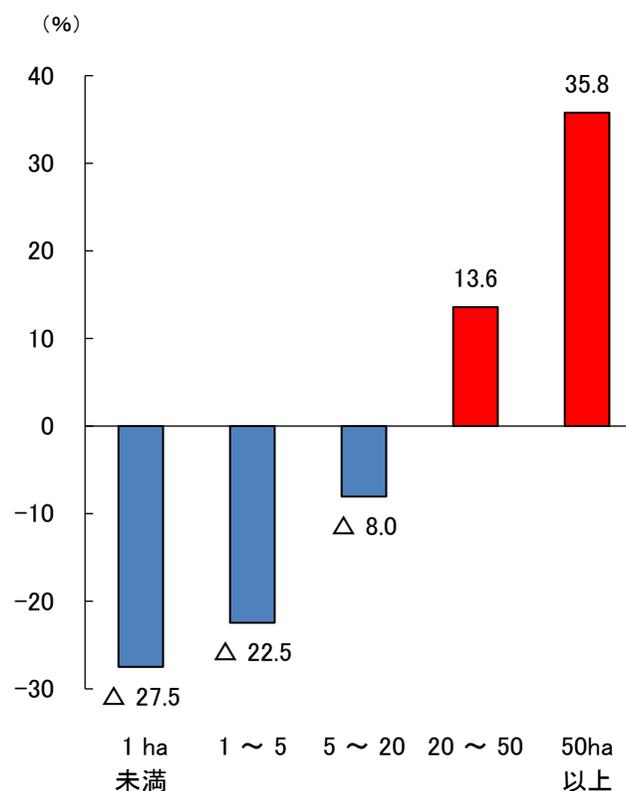
経営耕地面積規模別に農業経営体数の増減率をみると、全国では50ha以上の層で増加していますが、中国地域では20ha以上の層で、四国地域では5ha以上の層で増加しています。

経営耕地面積規模別経営体数の増減率 (2025年/2020年)

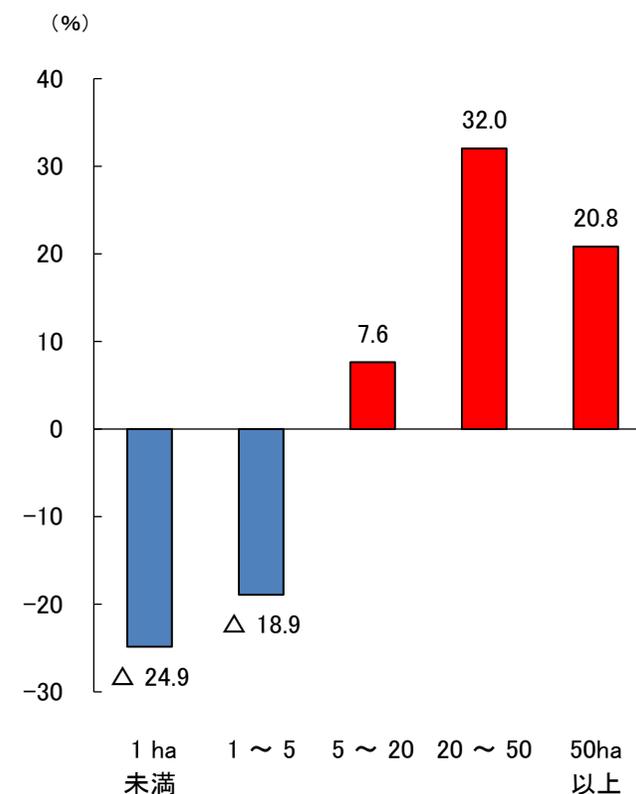
(全国)



(中国地域)



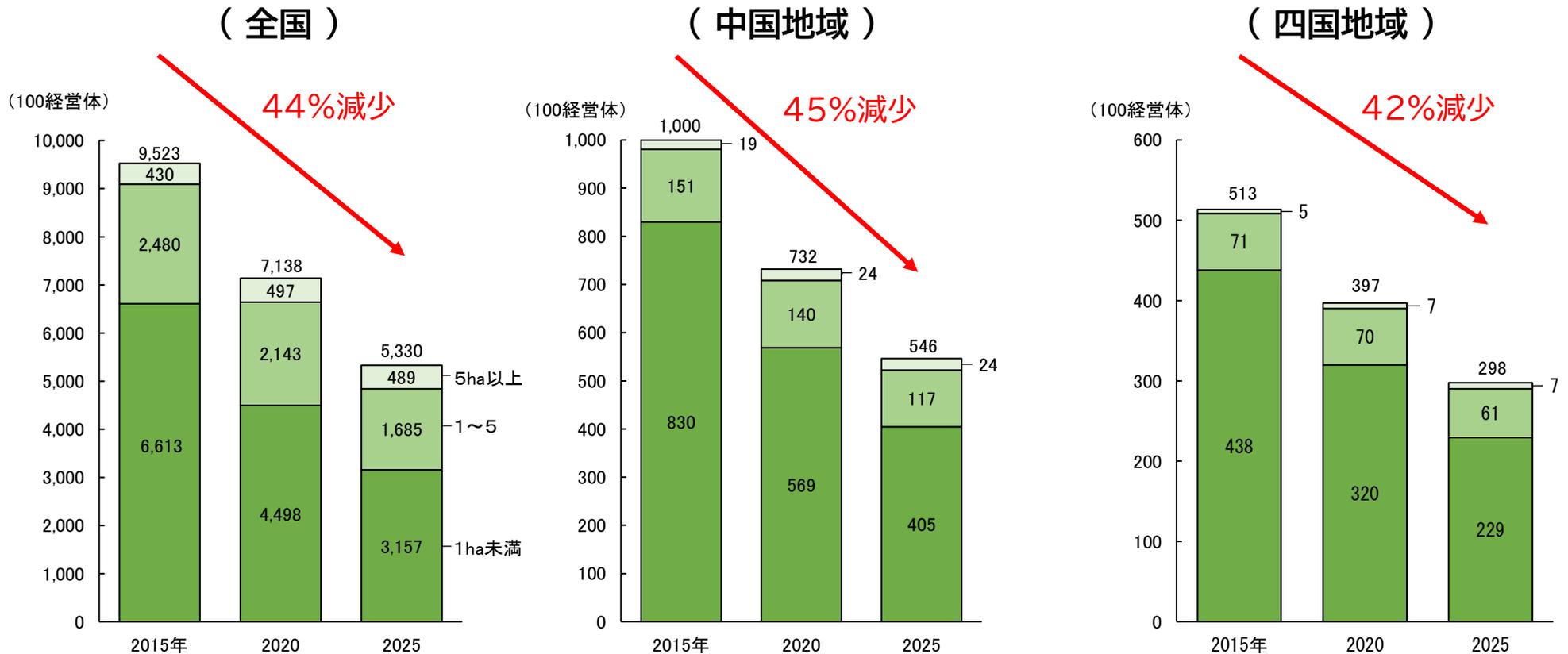
(四国地域)



農業経営体数の動き(水稲作付面積)①

販売目的で水稲を作付けした農業経営体数は、中国地域が5万4,600経営体、四国地域が2万9,800経営体で、10年前に比べそれぞれ45%、42%減少しています。

水稲作付面積規模別経営体数



資料：農林水産省「農林業センサス」

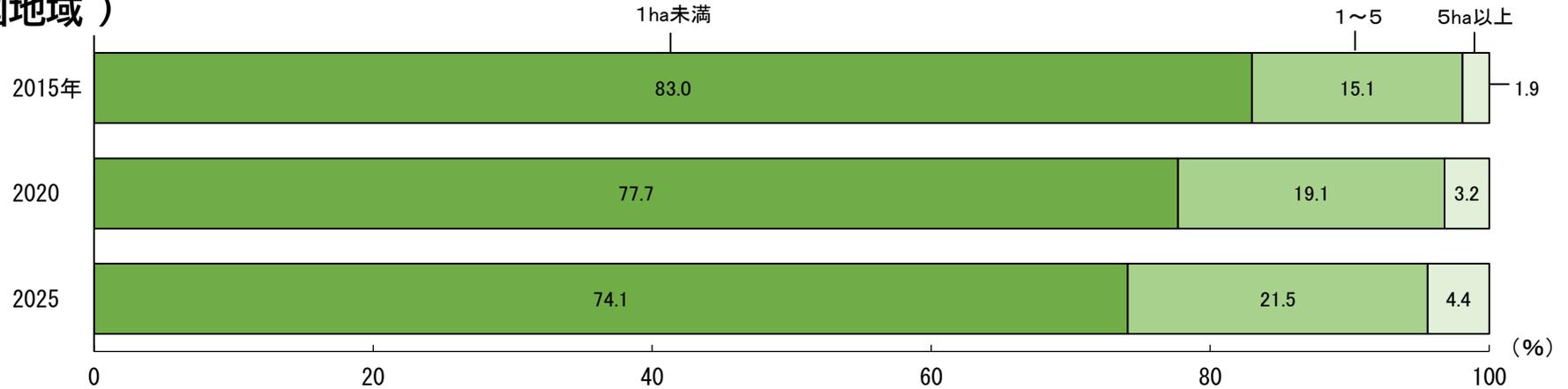
注：販売目的で水稲を作付けした農業経営体数は、調査期日（各年2月1日現在）前1年間の結果です。

農業経営体数の動き(水稲作付面積)②

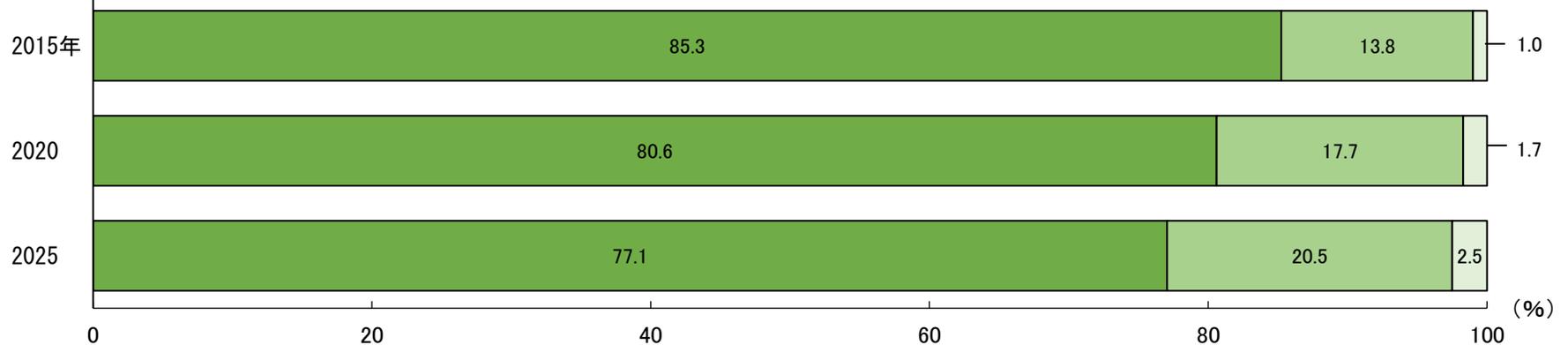
水稲の作付面積規模別に農業経営体数の構成割合をみると、中国地域、四国地域ともに1ha未満の層の割合が低下し、1ha以上の層の割合が上昇しています。

水稲作付面積規模別経営体数の構成割合

(中国地域)



(四国地域)



資料：農林水産省「農林業センサス」

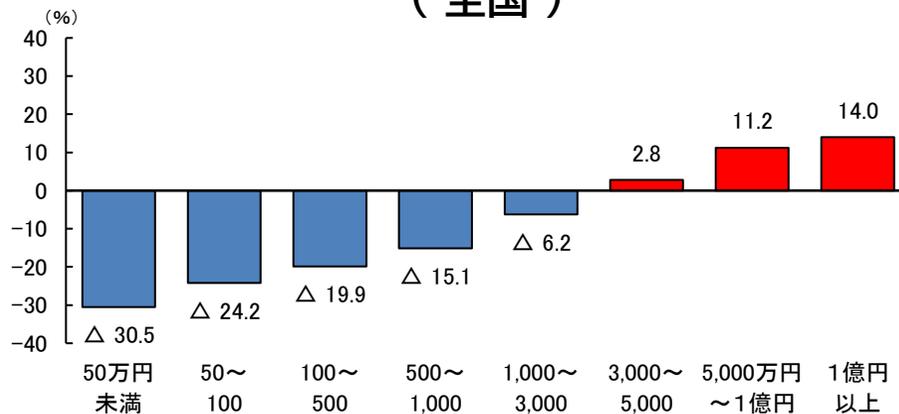
注：販売目的で水稲を作付けした農業経営体数は、調査期日（各年2月1日現在）前1年間の結果です。

農業経営体数の動き(販売金額)①

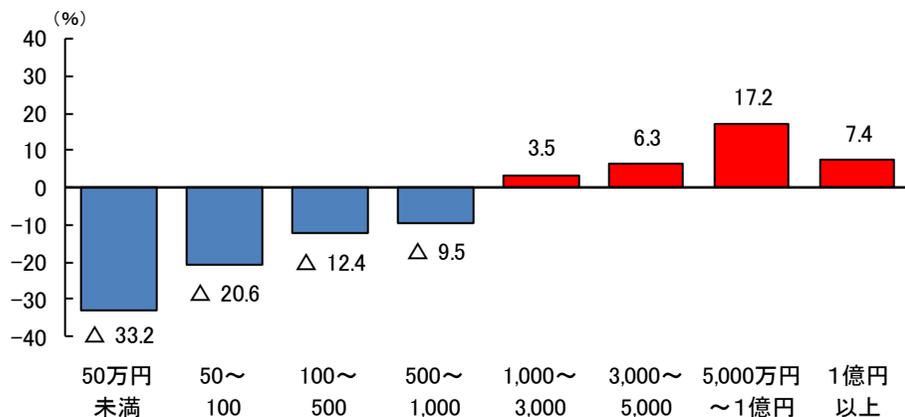
農産物の販売金額規模別に農業経営体数の増減率をみると、5年前に比べ全国は3,000万円以上の層で増加していますが、中国地域、四国地域では、1,000万円以上の層で増加しています。

農産物販売金額規模別経営体数の増減率 (2025年/2020年)

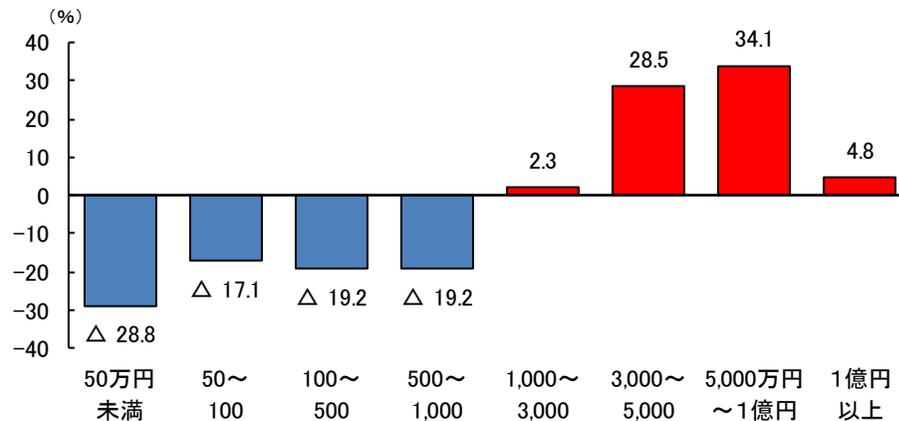
(全国)



(中国地域)



(四国地域)

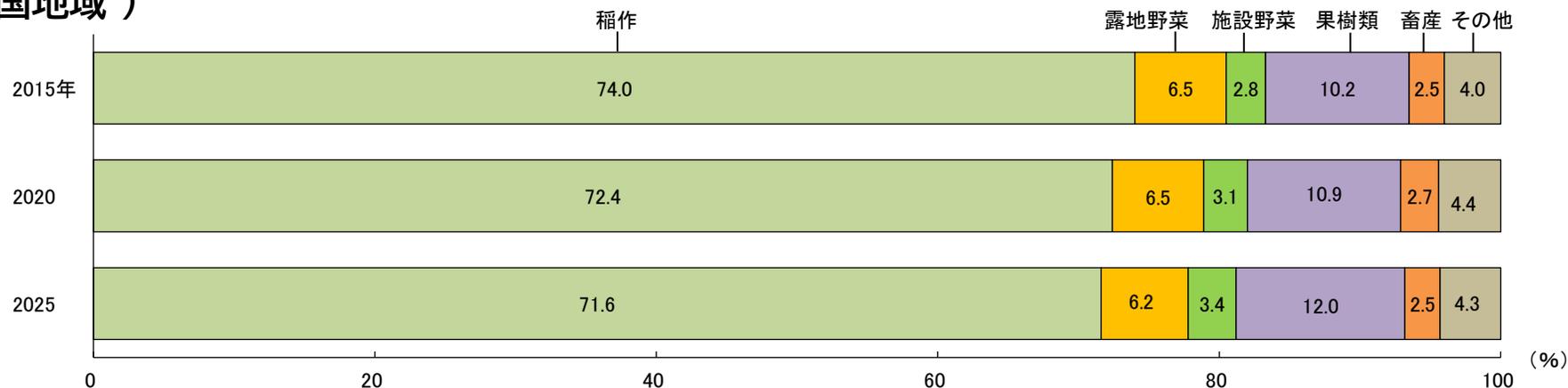


農業経営体数の動き(販売金額)②

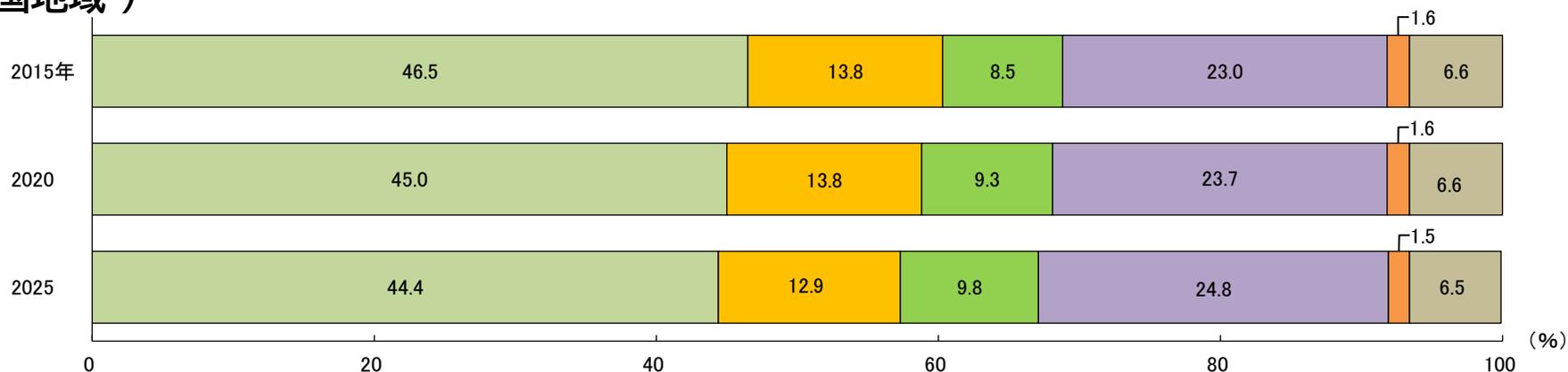
農産物の販売金額1位部門別に農業経営体数の構成割合をみると、中国地域では稲作の割合が低下傾向にあるものの、7割を占めています。また、中国地域・四国地域とも、施設野菜や果樹類の割合が上昇傾向となっています。

農産物販売金額1位部門別経営体数の構成割合

(中国地域)



(四国地域)



基幹的農業従事者数(個人経営体)

農業経営体のうち個人経営体の基幹的農業従事者（自営農業を主な仕事としている世帯員）は、中国地域が7万400人、四国地域が6万2,400人で、10年前に比べそれぞれ49%、41%減少しています。また、平均年齢は、中国地域が71.5歳、四国地域が68.8歳で、全国平均に比べ高くなっています。

年齢別基幹的農業従事者数(個人経営体)の推移

(全国)

(中国地域)

(四国地域)

単位:100人

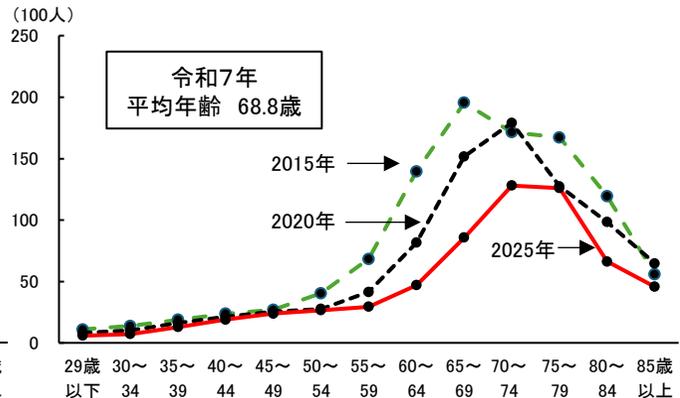
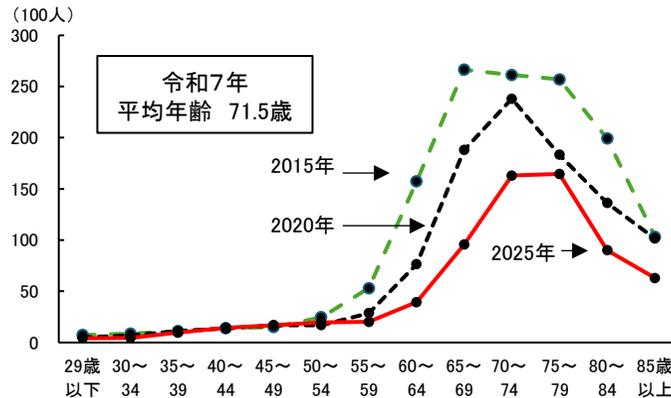
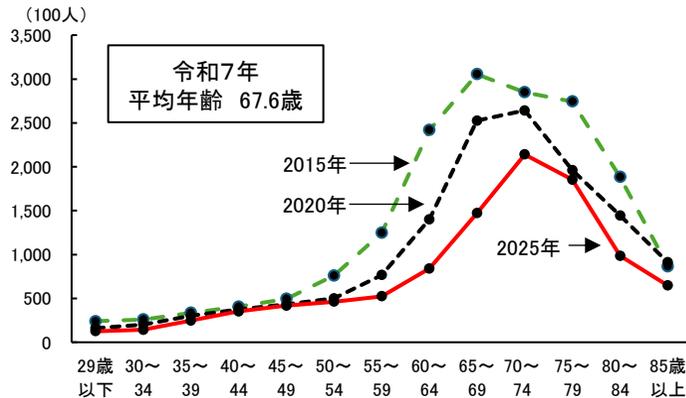
単位:100人

単位:100人

区分	計	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65歳以上			
							小計	65~69	70~79	80歳以上
2015年	17,568	241	597	903	2,009	2,418	11,400	3,056	5,594	2,750
2020年	13,630	161	505	809	1,269	1,400	9,486	2,527	4,604	2,355
2025年	10,212	126	391	771	987	840	7,097	1,471	3,993	1,633

区分	計	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65歳以上			
							小計	65~69	70~79	80歳以上
2015年	1,377	7	20	29	78	157	1,087	266	518	302
2020年	1,022	5	18	30	46	76	847	188	421	238
2025年	704	4	14	31	40	39	576	96	328	153

区分	計	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65歳以上			
							小計	65~69	70~79	80歳以上
2015年	1,053	11	33	51	109	140	710	195	339	175
2020年	854	8	26	47	69	82	622	152	307	163
2025年	624	6	20	43	56	47	452	86	254	112



基幹的農業従事者数(個人経営体)(管内各県)

管内各県の基幹的農業従事者を性別で見ると、各県とも男性が6割以上を占めています。また、年齢別で見ると、各県とも65歳以上が6割以上を占めています。

各県の性別・年齢別基幹的農業従事者数(個人経営体)の構成割合(2025年)

